

クラシック ギターコース 演奏会

ClassicGuitar Course Concert

2020年11月29日(日) 15:00開演(14:30開場)

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 2F

ご挨拶

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスという思ってもみなかった災禍により、世界中が想像を絶する苦難の日々を送っております。本学におきましても休校やオンラインレッスンなど、学生諸君には多大な不便と忍耐を強いる結果となりました。教員として忸怩たる思いでいっぱいです。この度のクラシックギターコース演奏会は、本年度唯一の授業成果発表の場です。最大限の感染防止対策を取り、安心してお聴き頂けるよう努力いたします。ただ、残念なことに中国からの留学生2名は年頭に帰省以後、再来日できず、本日の演奏会への参加を見送らざるを得ませんでした。現在、修了演奏に間に合うよう準備をしています。無事卒業できることを祈っています。

クラシックギターコースは本年度をもって終了し、来年度からはワールドミュージックコースの一翼を担うこととなります。また私事ではありますが、私は定年により今年度をもって退任いたします。最後の年がこのような状況となり複雑な心境ではありますが、クラシックギターコースの優秀な教員は全てワールドミュージックコースに在籍いたします。どうぞこれからも洗足学園音楽大学をよろしく願いたします。

クラシックギターコース客員教授・原 善伸

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

第1部

フェルナンド・ソル/3つの小さなディベルティメント作品61
Fernando Sor(1778-1839)//Trois Petit Divertissements Op.61

第1番 Andante-Mazurka Allegretto ハ長調

第1ギター：清水 芽衣 第2ギター：原 善伸

第2番 Andante moderato-Allegro moderato ニ長調

第1ギター：五十木 翔太 第2ギター：原 善伸

第3番 Andante ホ短調-Allegretto ホ長調

第1ギター：大貫 淳也 第2ギター：原 善伸

アルカンジェロ・コレッリ/ソナタホ短調作品5-8
Arcangelo Corelli(1653-1713)//Sonate e-Moll Op.5-8

第1楽章 Preludio

第2楽章 Allemanda

ヴァイオリン：小林 すぎ野 ギター：清水 芽衣

第3楽章 Sarabanda

第4楽章 Giga

ヴァイオリン：小林 すぎ野 ギター：五十木 翔太

ニコロ・パガニーニ/協奏風ソナタ イ長調より第1楽章
Niccolo Paganini(1782-1840)//Sonata Concertata~Allegro Spiritoso

ヴァイオリン：小林 すぎ野 ギター：大貫 淳也

～休憩・換気～

第2部

フェデリコ・モレノ=トローバ/版画
Federico Moreno Torroba(1891-1982)//Estampas

I. Bailando un Fandango Charro (牛飼いの踊り)

II. Remanso (戻り水)

III. La Siega (収穫)

IV. Fiesta en el Pueblo (町祭り)

V. Amanecer (曙)

VI. La Boda (結婚式)

VII. Camino del Molino (粉屋通り)

VIII. Juegos Infantiles (子供の踊り)

第1ギター：五十木 翔太 第2ギター：大貫 淳也 第3ギター：清水 芽衣 第4ギター：小林 徹

エイトール・ヴィラ=ロボス/ブラジル風バッハ第5番よりアリア
Heitor Villa-Lobos(1887-1959)//Bachianas Brasileiras No.5~Aria:Cantilena

arr.Roland Dyens~Toru Kobayashi

ヴァイオリン：小林すぎ野 第1ギター：大貫淳也 第2ギター：清水芽衣

第3ギター：五十木翔太 バスギター：小林徹

プログラムにひとこと (原善伸)

●フェルナンド・ソル (1778-1839) は古典期におけるギターを代表する作曲家ですが、バレー音楽や歌曲の作曲家としても名を馳せました。ギター作品の多くは独奏曲ですが、ギター二重奏にも重要な作品があります。「三つの小さな喜遊曲'Op.61」は最晩年の作品で第1パートを生徒が第2パートを先生が弾くことを想定して書かれています。ソルはその教則本で爪を使わない指頭奏法を提唱しました。しかし二重奏曲「二人の友 Op.41」を贈った友人アグアドは爪奏法でした。本日は学生は爪奏法で、私は指頭奏法で演奏いたします。

●アルカンジェロ・コレッリ (1653-1713) はバロック音楽において器楽合奏の礎を築きました。その中で作品5はヴァイオリンと通奏低音のための12曲からなるソナタ集として名高く、本日演奏するのはその第8番です。本年度ヴァイオリンとギターのアンサンブルの授業を担当していただいた小林すぎ野先生にヴァイオリン独奏をお願いしました。学部4年の2名に通奏低音をギターで演奏してもらいます。

●ニコロ・パガニーニ (1782-1840) は言わずと知れたヴァイオリンの名手でしたが、ギターの腕前も確かでヴァイオリンとギターのための曲も数多く作曲しました。本日演奏される「協奏風ソナタ」は二つの楽器が対等に渡り合うように作られています。3つの楽章がありますが、本日は第1楽章Allegro Spiritosoをお届けします。ヴァイオリンは小林すぎ野先生、ギターは大学院2年生です。

●フェデリコ・モレノ=トローバ (1891-1982) は20世紀スペインの作曲家で、サルスエラ (スペイン風オペレッタ) の作曲家としても有名です。彼は巨匠アンドレス・セゴビアの依頼を受けギター曲も数多く作りました。ギター四重奏「版画」は名手ペペ・ロメロが父と兄弟で結成したロメロ・ファミリーのために作られました。8曲からなる小品集で、のどかな田舎の情景を描写しています。本日は長くギター合奏を指導していただいている小林徹先生と学生たちによる演奏でお聴きいただきます。

●エイトール・ヴィラ=ロボス (1887-1959) は20世紀を代表する作曲家のひとりです。1000曲におよぶ様々なスタイルの作品を残しました。ギターのためにも「ギター協奏曲-コパカバーナ」を始め、「5つの前奏曲」「12の練習曲」「ブラジル民謡組曲」「ショーロス第1番」などがあります。「ブラジル風バッハ第5番~アリア」の原曲はソプラノ独唱とチェロ8本のための作品です。本日はパリ国立音楽院教授を努めたローラン・ディアンズによるギター五重奏への編曲を小林徹先生がヴァイオリンとギター4本に再構成してお届けします。

Profile

原 善伸

Yoshinobu Hara

1972年日本ギタリスト協会新人賞受賞。1976年ドイツ国立ケルン音楽大学を首席で卒業、国家演奏家資格を得てプレーメン音楽院（現大学）専任講師に就任する。1979年帰国、ドイツ・ヴァイカースハイム国際音楽祭講師、日本大学芸術学部講師、洗足学園音楽大学教授を歴任。ギター独奏、ギター二重奏、ギター四重奏、フルートやヴァイオリンとの二重奏など14枚に及ぶ様々なスタイルのCDを発売、最新作「カルカッシ完全ギター教則本（原典版）」はレコード芸術誌特選盤、音楽芸術誌推薦盤に選ばれた。

小林 すぎ野

Sugino Kobayashi

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒

第25回全日本学生音楽コンクール(毎日新聞主催)東京大会第1位。10歳の時にソリストに選ばれ日本フィルハーモニー交響楽団と共演。1995年より「海野義雄・東京ヴィルトゥオーソ」の主要メンバーとして全国各地に招かれ好評を博す。2017年より東京国際ヴァイオリン協会『日本ヴァイオリン検定』の課題委員・審査委員を務め、正しいヴァイオリン基礎技術の普及、啓発に力を注いでいる。チェコ音楽コンクール2018年・2019年の審査員を務める。洗足学園音楽大学・大学院准教授。

小林 徹

Toru Kobayashi

日本ギター音楽学校首席卒業。第10回全日本ギターコンクール重奏部門優勝。新日本ギターアンサンブル常任指揮者。JGAギター音楽祭GM。県立多摩高校、県立川越高校、私立淑徳巣鴨中学・高校、上智大学など指導する学生数は日本一。2010年より毎年シンガポールでマスタークラスを行い、2015年からジャパンユースギターアンサンブルを率いてアジア各地で演奏を行う。現在まで多くのオリジナル合奏曲の委嘱、初演を行い、独奏者としてCD『Amazing Grace』をリリースするなど活動は多岐に亘りギターの研究と普及に取り組んでいる。

大貫 淳也

Atsuya Onuki

埼玉県出身。埼玉県立川越高校、首都大学東京（現 東京都立大学）航空宇宙システム工学コースを卒業。高校、大学にてギター合奏を行い、18歳より独奏を始める。これまでに、小林徹、原善伸、鈴木大介、大萩康司の各氏に師事。現在、洗足学園音楽大学大学院修士課程2年次在学中。

五十木 翔太

Shota Ikarugi

神奈川県出身。12歳よりギター合奏を始める。17歳から独奏を始め、小林徹氏に師事。神奈川県大和市立引地台中学校、神奈川県立多摩高等学校在学中に、全国学校ギター合奏コンクールに出場し、2013年～2015年に金賞を受賞。現在は洗足学園音楽大学に在籍し、原善伸、大萩康司、鈴木大介の各氏に師事している。

清水 芽衣

Mei Shimizu

ピアノを6歳から、ギターを14歳から始める。ギターを山田大輔、井上仁一郎の各氏に師事。北鎌倉女子学園音楽科を卒業。現在は洗足学園音楽大学4年に在籍し、原善伸、鈴木大介、大萩康司の各氏に師事している。